第５期室蘭市役所エコオフィスプラン　令和３年度実績について

市では、事業者・消費者として環境への負荷低減に率先して行動するため策定した「室蘭市エコオフィスプラン」の中で二酸化炭素排出量の削減目標を定め、省エネや省資源に取り組んでいます。
R3 年度の市役所全施設の事務・事業活動に伴う二酸化炭素排出量は次のとおりです。

１．二酸化炭素（CO_2）排出量

単位：t-CO_2

項　目	R1 年度 （基準年度）	R3 年度	増減量 〈対基準年度比〉	目　標 〈対基準年度比〉
二酸化炭素(CO_2)排出量	27,446	25,498	▲1,948 〈▲7.1%〉	R7 年度 〈▲5%〉

R3 年度の二酸化炭素(CO_2)排出量は基準年度と比較して 1,948t-CO_2 減少（7.1%減）となり、目標を上回りましたが、この減少分は電力の排出係数※の低下による影響が大きく、公共施設等におけるエネルギー総使用量は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための換気対策等により基準年度に比べ増加しています。

※「電力の排出係数」とは、1kWh の電気を発電・供給するために排出された二酸化炭素を示す指標であり、契約した電気事業者や年度によっても異なります。

【主な施設の排出量増減】　基準年度(R1 年度)との比較

単位：t-CO_2

施　　設	R1 年度 （基準年度）	R3 年度	対基準年度増減量	CO_2排出量の 主なｴﾈﾙｷﾞｰ種
本庁舎及び広域ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ	579	585	6	電　気
ロードヒーティング	3,739	3,954	215	電　気
蘭東下水処理場	2,526	1,707	▲819	重油・電気
市立病院（本院）	4,950	4,475	▲475	重油・電気

- 本庁舎及び広域センタービルでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための換気対策等による暖房燃料使用量の増などにより、6t-CO_2増加。
- ロードヒーティングは、基準年度より気温が低下し、稼働時間の増により、215t-CO_2 増加。
- 蘭東下水処理場は、施設改修に伴う電気使用量の減のほか、電力の調達先の変更による電力の排出係数の低下により、819t-CO_2 減少。
- 市立病院は、継続的に照明の LED 化を推進したほか、BEMS(ビルエネルギー管理システム）の導入により、自家発電の効率化が図られ、重油使用量が削減されたことにより、475t-CO_2 減少。

２．今後の取組について

- 令和４年度中に「室蘭市役所エコオフィスプラン」を全面改定した「室蘭市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】」の策定を進めており、2030 年度を目標年度とし、これまで以上の温室効果ガス排出量削減に向けた目標等を設定していきます。
- CO_2排出量のエネルギー別構成比は、電気使用に伴う排出が約 70%と大きいことから、全庁的な節電に取り組むほか、省エネ対策ガイドラインに基づく道路照明等の省エネ化を引き続き実施していきます。

「COOL CHOICE」とは、脱炭素社会実現のため日本が世界に誇る省エネ・低炭素型製品・サービス、行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。
身近な生活の中で、未来のために今選択できるアクションを選ぶ。
室蘭市は「COOL CHOICE」に賛同しています。